

県民活動の活性化で 地域課題を解決



企業、行政、NPOを対象に米子で実施した「CSR（企業の社会的責任）からSR（あらゆる組織の社会的責任）へ」をテーマにしたセミナーの様子

に、互いを結び付けることで課題を解決する仕組みを作りたい」と語る。

鳥取県はボランティアの参加率が全国的にも高く、地域づくり活動の歴史もある上、NPO設立も人口比率で高い。「今後ますます活力ある地域社会が求められてくる。しかし、県内の各団体は個々で頑張っているが、情報発信ができず、活動が周囲に伝わっていない団体も多い」と毛利事務局長はセンター設立の背景を説明する。

センターの具体的な活動は①センター事務所または訪問による相談対応②NPO等の団体や担い手育成のための研修会の開催③ウェブや紙媒体を使った情報の収集・発信④地域やテーマを越えた団体間のネットワークや多様な主体間の連携・協働の推進⑤共感を広げ参加を促す、人・モノ・カネ等の資源の開発・仲介・提供支援⑥調査研究、政策提言。

プレ企画として2013年秋から、ボランティア・地域づく

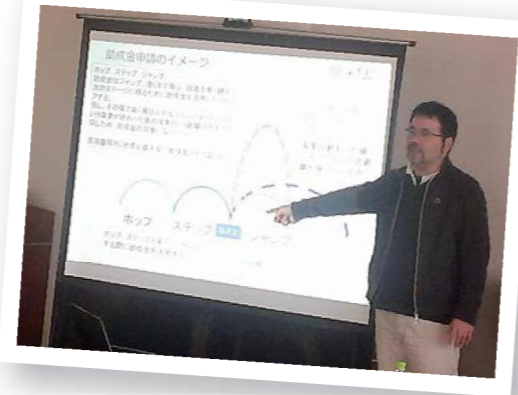
ボランティア、地域づくり、NPOなど鳥取県民の活動を総合的に支援する「とっとり県民活動活性化センター」（山根到理事長）が倉吉市内に開所され、2014年4月から本格始動する。人口減少、少子高齢化など新たな変化によって生まれる地域課題の解決に向け、県民活動のさらなる活性化を目指す。

センターは各種団体の中間支援となる組織。総合的な支援センターの設立は県内で初めてとなる。総合的に支援することで各種団体の活性化を図り、行政だけでは解決できない地域課題を多くの参画で解決するを目的としている。毛利事務局長は「各団体などを支援することも



NPO法人かものはしプロジェクトの山元圭太さんを迎えた「資金調達をテーマにしたネットワーク交流会」

日本財団の山田泰久さんを講師に迎えた「助成金活用セミナー」



り・NPO活動に関する「出前相談会・意見交換会」や「資金調達力UP発信力アップのためのセミナー」、ネットワーク交流会、協働・連携セミナーを各地で行ってきた。

4月からは5人体制で始動。初年度の目標として毛利事務局長は「9割の人にセンターを認知してもらい、6割の人に役に立ったと思ってもらえるセンターにしたい」と話す。まずは各団体を知るために積極的に地域に出向き、コミュニケーションを取ることから始める。「鳥取にしかない個性、地域の力、潜在能力が発揮できる仕組みを作りたい」と力強く話す。

一般財団法人 「とっとり県民活動 活性化センター」 の事例

代表者のコメント

理事長 山根到さん



倉吉を拠点に県内全域で、センタースタッフが相談活動や研修機会を提供していきます。また、パープルタウン2階に開所した事務所スペースも「交流・学びあいの場」として皆さまに大いにご利用いただきたいと思っています。どうぞよろしく願っています。

一般財団法人 とっとり県民活動活性化センター

〈概要〉 ●所在地:倉吉市山根557の1パープルタウン2階
●代表者:山根到
TEL・FAX 0858-24-6460
ホームページ <http://tottori-katsu.net/>

